竹馬会情報紙

ホームページアドレス
http://chikubakai.com

竹馬会 CHIKUBAKAI

竹馬会キャラクター
なベムシ君

門松設置と初詣

12月24日（土）、佐知のお宮と金色温泉に門松を設置しました。

今年の元旦は穏やかな天気となり、初詣の参拝者も多いのではと思いましたが、昔ほどではなく、少し残念でした。少なくとも新年は地元の神社に参拝して欲しいものです。来年は足を運んでもらえるよう何とか考えたいうのです。

旅人 松ちゃん 大分を後に！

昨年３月、埼玉を徒歩で出発、６月に竹馬会と出会った「松ちゃん」こと松住隆夫さんが12月30日早朝６時30分に中津駅に着き、佐知に舞い戻って来ました。ちょうど2-1組のお宮の掃除の日で、掃除と相良家の餅つきを手伝ってもらいました。大分での約９カ月の間も中国の北京をはじめ、沖縄、四国、岡山と旅を続けましたが、１月２日、各駅停車で大分を後にして埼玉に帰りました。その３日後には、３月で廃止になる寝台特急「日本海」で青森まで旅をしたようです。

第44回三光地区一周駅伝大会

１月１５日(日)、第４４回三光地区一周駅伝大会が行われました。恒例となりました竹馬会の〝はずみ鍋〟での豚汁も大好評で３００杯がなくなりました。

福島にひまわりを送りました

11月27日（日）に収穫したひまわりの種をその後天日干しにし、12月24日（土）の門松設置の後、選別作業を行いました。トーミーと手作業で選別した種は米袋にちょうど１袋、重さにして約15 kgでした。

１月８日、福島ひまわり里親プロジェクトの事務局に送りました。

佐知庵の片づけ

１月１５日、駅伝大会終了後、佐知庵を片づけました。中の物を全部出してから、不用な物を軽トラック２台分、米山のクリーンプラザへ持って行きました。佐知庵は見違えるほど綺麗になりました。終了後、新年会を行いました。

1月3日の読売新聞朝刊、大分発で全国に広がったものの連載のトップを切って竹馬会の「泥田バレー」が紹介されました。その後、湯布院映画祭などが続きました。

三光で生まれ 出雲で発展

大分が一番 ❶泥田バレー

島根県出雲市の大会に招かれた竹馬会のメンバーたち（1999年8月）

川瀬さん

「運命の瞬間でした」。島根県出雲市のNPO法人・21世紀出雲産業支援センター事務局次長の川瀬勇さん(54)は、1999年5月の出来事を振り返った。

川瀬さんは、旧平田市（現出雲市）和田地区出身。当時、会社員の傍ら、和田青年会の幹部を務め、過疎の町の地域おこしを模索していた。

「田んぼでサッカー大会でもやろうかな」。二日酔いの頭で考えていた時、三光村（現中津市）で全日本泥田バレーボール大会を開いているグループ「竹馬会」の相良卓紀さん(55)の声が、ラジオから流れてきた。

三光村の泥田バレーは89年に始まった。竹馬会のメンバーたちが焼酎を飲みながら語り、冗談半分で出された「休耕田に水を入れ、泥だらけになってバレーをやったらどうか」との意見がきっかけだった。

泥田バレーの元祖とされる大会。県外にも広く知れ渡り、昨年の大会には、76の出場枠に約100チームから申し込みがあった。

川瀬さんがラジオを聞いた後、青年会の仲間に報告すると「これしかない」との声が上がった。1週間後には、参考にするため、6人で三光村を訪れた。

高まる知名度、励み

運営のノウハウを教わり、地元に戻ったメンバーたちは不用になったバレーボールのネットを回収し、鉄工所に頼んで支柱を作った。大会を8月22日に開くことを決め、賞品を出してくれる企業も探した。

「本家の三光村が全日本なら、弟分のうちが（プロレス団体に例えると）新日本。これを大会名に入れよう」。川瀬さんは面白がって新日本プロレスのレスラーの参加も計画。交渉は実らなかったが、当日、アントニオ猪木さんから祝電が届いた。

大会には中国、近畿の一円から出場があり、新聞やテレビで紹介された。回を重ねるごとに知られる存在となり、兵庫県洲本市などで新たな大会が誕生。派生した鳥取県三朝町では、優勝チームが出雲市の大会に出場する決まりだ。

川瀬さんは2004年まで大会をまとめ、地域の活性化に貢献した。この実績が当時の平田市長に認められ、企業誘致に当たる財団法人の事務局長に抜てき。05年の合併後、NPO法人に採用された。

合併後、泥田バレーは体育協会が運営しており、川瀬さんらは裏方に回った。新日本プロレスも99年の交渉が縁で毎年、出雲市で興行をするようになった。

「究極の地域おこしは企業誘致。培った人脈を生かせば、実現できるはず。12年前の出会いがなければ、こんなことは言えなかった」と川瀬さん。

相良さんは「三光の大会をやめようかと思った時期もあった。出雲の頑張りで、泥田バレーの知名度は高まり、〝本家〟として頑張らなければ、という気持ちにさせられる」と話す。

三光村生まれの泥田バレーは、約400㌔離れた出雲の地で大きく育っている。

◇

大分で生まれたり、ブームの先駆けになったりした取り組みは数知れない。その活動の中心を担っている人や、他県で取り組みを受け継ぐ人たちの思いに触れる。

今後の予定

■熊本県天草市職員研修
２月　２日（木）午後２時～　活性化センター
※熊本県天草市より地域づくりの研修に来られます。
　時間のある方は出席してください。

■どんど焼き準備
２月　５日（日）午前８時３０分　川野さん倉庫集合

■どんど焼き餅つき
２月１１日（土）午前９時　佐知庵集合
※佐知庵が片付きましたので今年は佐知庵で搗きます。

■どんど焼き
２月１１日（土）午後５時　現地集合
※火入れは午後６時の予定です。

■どんど焼き　後片付け
２月１２日（日）午前９時　現地集合